

めばえ学園の詳細について

<役割>

○目的

心身障がい児（肢体不自由児を除く）の福祉の向上と健やかな育成を図る

○事業内容

◇心身障がい児に対する療育に関する業務

- ・児童発達支援センターの運営

定員：40 名

対象：知的障がい児（**医療的ケアを伴う場合を含む**）

形態：**親子通園**（1～2歳児＝週1～2日）

単独通園（3～5歳児＝週5日）

- ・障がい児相談支援、特定相談支援
- ・保育所等訪問支援

◇広報、啓発事業（公開講座、実習受入、出前講座、ホームページ運用、機関誌発行）

◇地域交流活動に関する業務（公民館での相談会、園庭開放、ハザー、地域清掃活動）

○特色（民間事業所との違い）

福祉型の児童発達支援センターであるが、平成 20 年 4 月に看護師を配置し、あゆみ学園の医師と連携することにより、医療的ケア児の受け入れを行っている（30 年 11 月 1 日現在 4 名）。

また、1 歳児からの親子通園クラスを設け、保護者も含めた支援を行い、早期療育の実現に取り組んでいる。

これらの取組みは、民間の児童発達支援センターでは、人員を確保できないことや費用が掛かること、ノウハウが無いこと等の理由から、行えていない。

<実績（人数）>

	27年度		28年度		29年度	
	延べ	月平均 実人数	延べ	月平均 実人数	延べ	月平均 実人数
知的	9,442	62	10,068	62	10,357	64
親子通園	814		912		1,065	
単独通園	8,628		9,156		9,292	

<職員配置（30 年度）>

区分		職員	嘱託	計	
管理	事務	1		1	
	栄養士		1	1	
	調理師		1	1	
	小計	1	2	3	
相談・ 訓練	相談支援員		1	1	
	看護師		1	1	
	小計	0	2	2	
通園	知的	係長	1	1	
		保育士	5	4	9
		児童指導員	2		2
	小計	8	4	12	
合計		9	8	17	

<運営費収支（子ども発達支援課分）>

	29年度
歳出	130,820 千円
歳入	117,538 千円
差引	△ 13,282 千円

<年度評価結果>

指定管理業務が適切に行われているか評価を行っている。

（50 点満点。A:45 点～、B:38～44 点、C:30～37 点、D:25～29 点、E:～24 点）

	27年度	28年度	29年度
めばえ学園	A（48 点）	A（48 点）	A（49 点）

※マイナス評価の理由（28 年度）

- ・広報の取組みについて、重要な情報発信媒体であるホームページの更新に遅れが見られたり、内容も古さが目立ち、十分な周知がなされているとは言えない。
- ・経営面での創意工夫について、安定的な経営はなされているが、特記する程の創意工夫は見られない。

<第 4 期指定管理期間における選定理由（非公募）>

民間施設では行っていない 1 歳児からの早期療育や医療的配慮児の受け入れなど、本市における先駆的・先導的役割を果たしている。幅広い専門的知識・経験を有し、適切な施設運営が可能である法人は福岡市社会福祉事業団以外にないため。

<包括外部監査における監査結果報告（非公募であることについて）>

福岡市社会福祉事業団でなければ運営できない事情はないと思われる。現時点では非公募としていることについて相当な理由が認められるが、公募化について検討してもよいのではないかと。